

1月16日（木）「5年防災学習AEDについて学びました」

1月16日（木）に5年生が、防災学習を行いました。葛城市防災士会の皆様にお越しいただき、「災害について」と「応急手当」について学びました。

奈良県内でも過去に大きな地震があり、葛城市内でも30年前に阪神淡路大震災で震度4あり、大きく揺れたことや、近い将来起こるであろうと言われている南海トラフ地震も向けて、備えることを教えていただきました。

災害に備えてやるべきことは、「ハザードマップを見えるところに貼る」「どこで家族と集合するのか決めておく」「災害グッズを備えておく」です。災害があった時には、自分の身は自分で守るということを教えていただきました。

次に、けがをしたときや骨折したときの応急処置の仕方や心肺蘇生法とAEDについて学習しました。子どもたちは、胸骨圧迫を30回するのは、大変そうでしたが、コツを掴んで、音が鳴るように力強く圧迫することができるようになりました。また、「AEDを初めて使ったけれど、体験してみても使い方を覚えることができた。実際にそのような場面に自分がいたら、使って命を守りたい。」と感想を述べていました。地震に備えて、たくさんのことを学ぶことができました。



災害についてのお話



心肺蘇生法について



心肺蘇生法の体験



応急処置の仕方



お礼を伝えている様子